

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-521969 (P2001-521969A)

【公表日】平成 13 年 11 月 13 日 (2001.11.13)

【出願番号】特願 2000-519031 (P2000-519031)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/04 (2006.01)

A 6 1 F 13/20 (2006.01)

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

D 0 1 F 6/92 (2006.01)

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 5/44 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 67/04

A 6 1 F 13/20 3 2 1

C 0 8 L 67/02

D 0 1 F 6/92 3 0 8 D

A 4 1 B 13/02 E

A 6 1 F 13/18 3 0 3

A 6 1 F 5/44 H

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 24 日 (2005.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 0 より多く 100 重量%未満の重量のポリ(乳酸)ポリマー、

b) ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれる、0 より多く 100 重量%未満の重量のポリマー、および

c) 約 10 ~ 約 40 の親水性 - 親油性平衡比を示し、0 より多く約 15 重量%までの重量の湿潤剤、

から成る熱可塑性組成物であって、すべての重量%は該熱可塑性組成物内に存在するポリ(乳酸)ポリマーと、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーと、湿潤剤の総重量に基づいていること、を特徴とする熱可塑性組成物。

【請求項 2】 ポリ(乳酸)ポリマーは約 5 重量% ~ 約 95 重量%の重量で存在していること、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーは約 5 重量% ~ 約 95 重量%の重量で存在していること、および湿潤剤は約 0.5 重量% ~ 約 15 重量%

%の重量で存在していること、

を特徴とする請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 3】 ポリ(乳酸)ポリマーは約 10 重量%～約 90 重量%の重量で存在していること、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーは約 10 重量%～約 90 重量%の重量で存在していること、および湿潤剤は約 1 重量%～約 13 重量%の重量で存在していること、

を特徴とする請求項 2 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 4】 湿潤剤は約 10～約 20 の親水性 - 親油性平衡比を示すこと、を特徴とする請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 5】 湿潤剤はエトキシレーテッドアルコールであること、を特徴とする請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 6】 ポリ(乳酸)ポリマーは約 75 重量%～約 90 重量%の重量で存在していること、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーは約 5 重量%～約 20 重量%の重量で存在していること、および湿潤剤はエトキシレーテッドアルコールであること、

を特徴とする請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 7】 熱可塑性組成物から作られた多成分繊維であって、前記熱可塑性組成物は、

a) 0 より多く 100 重量%未満の重量のポリ(乳酸)ポリマー、

b) ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれる、0 より多く 100 重量%未満の重量のポリマー、および

c) 約 10～約 40 の親水性 - 親油性平衡比を示し、0 より多く約 15 重量%までの重量の湿潤剤、
から成り、すべての重量%は前記熱可塑性組成物内に存在するポリ(乳酸)ポリマーと、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーと、湿潤剤の総重量に基づいていること、

前記多成分繊維は約 80°未満の前進接触角値と、約 60°未満の後退接触角値を示すこと、

を特徴とする多成分繊維。

【請求項 8】 ポリ(乳酸)ポリマーは約 5 重量%～約 95 重量%の重量で存在していること、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーは約 5 重量%～約 95 重量%の重量で存在していること、および湿潤剤は約 0.5 重量%～約 15 重量%の重量で存在していること、

を特徴とする請求項 7 に記載の多成分繊維。

【請求項 9】 湿潤剤は約 10～約 20 の親水性 - 親油性平衡比を示すこと、を特徴とする請求項 7 に記載の多成分繊維。

【請求項 10】 湿潤剤はエトキシレーテッドアルコールであること、を特徴とする請求項 7 に記載の多成分繊維。

【請求項 11】 多成分繊維は約 75°未満の前進接触角値と、約 55°未満の後退接触角値を示すこと、

を特徴とする請求項 7 に記載の多成分繊維。

【請求項 12】 前進接触角値と後退接触角値との差は約 30°未満であること、を特徴とする請求項 7 に記載の多成分繊維。

【請求項 13】 多成分繊維は約 15%未満の熱収縮値を示すこと、を特徴とする請求項 7 に記載の多成分繊維。

【請求項 14】 ポリ(乳酸)ポリマーは約 75 重量% ~ 約 90 重量%の重量で存在していること、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーは約 5 重量% ~ 約 20 重量%の重量で存在していること、および湿潤剤はエトキシレーテッドアルコールであること、前進接触角値と後退接触角値との差は約 30°未満であること、および多成分繊維は約 15%未満の熱収縮値を示すこと、を特徴とする請求項 7 に記載の多成分繊維。

【請求項 15】 液体浸透性表面シート、前記表面シートに結合された裏シート、および前記表面シートと前記裏シートの間に置かれた吸収コアから成る使い捨て吸収製品であって、前記液体吸収性表面シートは熱可塑性組成物から作られた多成分繊維から成り、前記熱可塑性組成物は、

- a) 0 より多く 100 重量%未満の重量のポリ(乳酸)ポリマー、
 - b) ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれる、0 より多く 100 重量%未満の重量のポリマー、および
 - c) 約 10 ~ 約 40 の親水性 - 親油性平衡比を示し、0 より多く約 15 重量%までの重量の湿潤剤、
- から成り、すべての重量%は前記熱可塑性組成物内に存在するポリ(乳酸)ポリマーと、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーと、湿潤剤の総重量に基づいていること、

前記多成分繊維は約 80°未満の前進接触角値と約 60°未満の後退接触角値を示すこと、を特徴とする使い捨て吸収製品。

【請求項 16】 ポリ(乳酸)ポリマーは約 5 重量% ~ 約 95 重量%の重量で存在していること、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーは約 5 重量% ~ 約 95 重量%の重量で存在していること、および湿潤剤は約 0.5 重量% ~ 約 15 重量%の重量で存在していること、を特徴とする請求項 15 に記載の使い捨て吸収製品。

【請求項 17】 湿潤剤は約 10 ~ 約 20 の親水性 - 親油性平衡比を示すこと、を特徴とする請求項 15 に記載の使い捨て吸収製品。

【請求項 18】 湿潤剤はエトキシレーテッドアルコールであること、を特徴とする請求項 15 に記載の使い捨て吸収製品。

【請求項 19】 多成分繊維は約 75°未満の前進接触角値と約 55°未満の後退接触角値を示すこと、を特徴とする請求項 15 に記載の使い捨て吸収製品。

【請求項 20】 前進接触角値と後退接触角値との差は約 30°未満であること、を特徴とする請求項 15 に記載の使い捨て吸収製品。

【請求項 21】 多成分繊維は約 15%未満の熱収縮値を示すこと、を特徴とする請求項 15 に記載の使い捨て吸収製品。

【請求項 22】 ポリ(乳酸)ポリマーは約 75 重量% ~ 約 90 重量%の重量で存在していること、ポリブチレンサクシネートポリマー、ポリブチレンサクシネートアジペートポリマー、およびこれらのポリマーの混合物から成る群から選ばれるポリマーは約 5 重量% ~ 約 20 重量%の重量で存在していること、湿潤剤はエトキシレーテッドアルコールであること、前進接触角値と後退接触角値との差は約 30°未満であること、および多成分繊維は約 15%未満の熱収縮値を示すこと、を特徴とする請求項 15 に記載の使い捨て吸収製品。